

# 働き方改革に関する企業経営陣へのトップ要請

株式会社ボストンクラブ（本社：福井県鯖江市）代表取締役 小松原一身氏を訪問し、同法人の「働き方改革」の取組状況をお聴きするとともに、更なる取組の推進を要請しました。



## 【会社情報】

名称 株式会社ボストンクラブ  
本部所在地 福井県鯖江市三六町1-4-31-2  
創業年月 1984年（昭和59年）8月  
従業員数 27人（13人女性、14人男性）  
事業内容 眼鏡デザイン企画・販売  
URL <http://www.bostonclub.co.jp>



小松原一身代表取締役（右）に「『働き方改革』に関する要請書」をお渡しする木村雇用環境・均等室長（左）。  
小松原一身代表取締役は、世の中に、更に良い眼鏡を提供できるよう従業員のワーク・ライフ・バランスを推進していきたいと抱負を話された。

## 働き方改革に向けた主な取組

項目	取組内容
働き方改革に向けた取組方針	仕事と生活の調和を実現していく。特に、女性が働きやすい環境を目指し、女性の意見やアイデアを取り入れた商品開発を積極的に行うとともに、健康で安心して、長く働くことができる職場環境を目指している。
時間外労働の改善、年休取得促進等の取組	原則、時間外労働はなく、定時退社に努めている。 時間単位年休を採用し、仕事と生活の両立に配慮している。令和2年度の年次有給休暇の取得率は47%である。
男性の育児休業の促進	職場は県外出身者が多いため、経営者自らが相談窓口となり、育児がしやすい職場環境の形成に努めている。また、親族の助力が得られにくい県外出身者の場合には父親の子育て参加が不可欠となるが、令和2年に第2子誕生の男性職員が職場のバックアップにより、10日間の育児休業を取得している。
子育て・介護等と仕事の両立	育児休業の取得の際には、理解を得られるよう経営者自ら職場に説明し、業務の分担調整を行い、取得しやすい職場環境の形成に努めている。周囲のサポートにより、育児休業取得者が職場に復帰しやすい体制づくりに努めている。
女性が活躍しやすい職場環境の整備等	従業員の女性比率は年々向上しておよそ半数となり、ブランド担当のチームリーダー等に登用している。 出産・子育て等、個人の事情に合わせた働き方になるよう短時間勤務等の労働条件を整え、労働条件に見合うように処遇を弾力的に変更し、雇用の維持を図っている。 女性目線やママさんスタッフの意見を取り入れた商品開発が行えるよう、長く働き続けてもらえるような人材育成と能力向上に力を入れている。
眼鏡産業活性化による地域への貢献	ジャポニスムミュージアムの設置、修学旅行生の受け入れ、東京への出店、自社ブランドの開発等により、眼鏡産業の技術力について内外に広く周知し、地域への貢献とともに従業員が誇りと生きがいを持てるよう眼鏡産業の活性化に努めている。